

スレイブ オフデマンド

SLAVE

ASUNA

ON-DEMAND

SWORD ART ONLINE ASUNA YUUKI ONLY FANBOOK 002 // BOOK-2 PLEASURE SLAVE.



This book is
only for
NTR man!x!



002

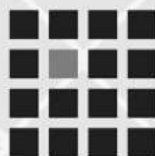
SAO SLAVE ASUNA ON-DEMAND



スレイブ アスタ オビデマノド

002

SWORD ART ONLINE ASUNA YUUKI ONLY FANBOOK 002 // BOOK-2 PLEASURE SLAVE.



DIEPPE
FACTORY
DARKSIDE
2012
WINTER



■■■ここまでのお話■■■



脳内操作により性感を著しく高められ、牝の本能が決壊寸前のアスナさん。



オベイロンのイメージを強く刷り込まれ、性感を著しく刺激されるようにも操作された脳は彼のモノを見るだけで…もう…

私…もう…アスナに…さからえないわ…私…は…ま



脱走を図ろうとしてナメクジに捕まり檻に連れ戻されたアスナさん。

藁にも継る思いからか自身の開放と、キリトと会わせるのを条件に、分の悪いだろう賭けに乗ることに。

好きにすればいいわ

理解が早く助かるよ

どうせ拒否権とないだろし



そして…彼女は……

それでは続きをどうぞ。



自ずから恥ずかしい場所にペンをくわえ込んでいく

肛門を割り広げられる鮮烈な快感と

彼に見せようけのうらに

「…アスナさん、おはようございます」

あさまし…

あま…あま…あま…

そのすべてを見られている義恥の入り混じった快感



そして…

それほどの匂い…恐ろしいだけで疼きが強くなる…

あふれるのを止まらない

一度タガが外れたら戻るのはあつという間

ああ…堅い熱い…

実に感激だねえ、あの閃光のアスナが

言葉よりも態度でしてことなのかい

あま…あま…あま…

あま…あま…あま…

あま…あま…あま…





PREFACE

あるぴーぬでございます。
ALOアスナNTR本後編でございます…が、
なんだかNTRとはちょっと趣が変わってきた気も…(:▽:)

とまれ本人NTRが素人ないにそのつもいで描いてまあと
どうぞ読んでやってくださいませm(__ __)m



う…

俺は…いっただい…

ぼー



こんな時に
ノブナは

英雄にしてはずいぶん
おめでたいねえ

ふ…やとこ
目が覚めたか



お前…須郷か？

妖精王オベイロン様と
呼びたまえよ

キミのようなクズが
這いつくばって謁見
できただけでも光栄
に思え

…ごいかんいかん

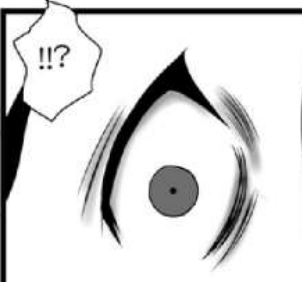


どうしたんだい
SAOの英雄もここでは
無能なガキで誤か？

く…

BOOK.2
Pleasure
Slave

あ…それは…



!!?



な…にを

君にはあちらの方が
効果的だったな

ククク…まあ
すくにわかるさ

そんな……

アスナ

どうかな…この服
懐かしいでしょう？

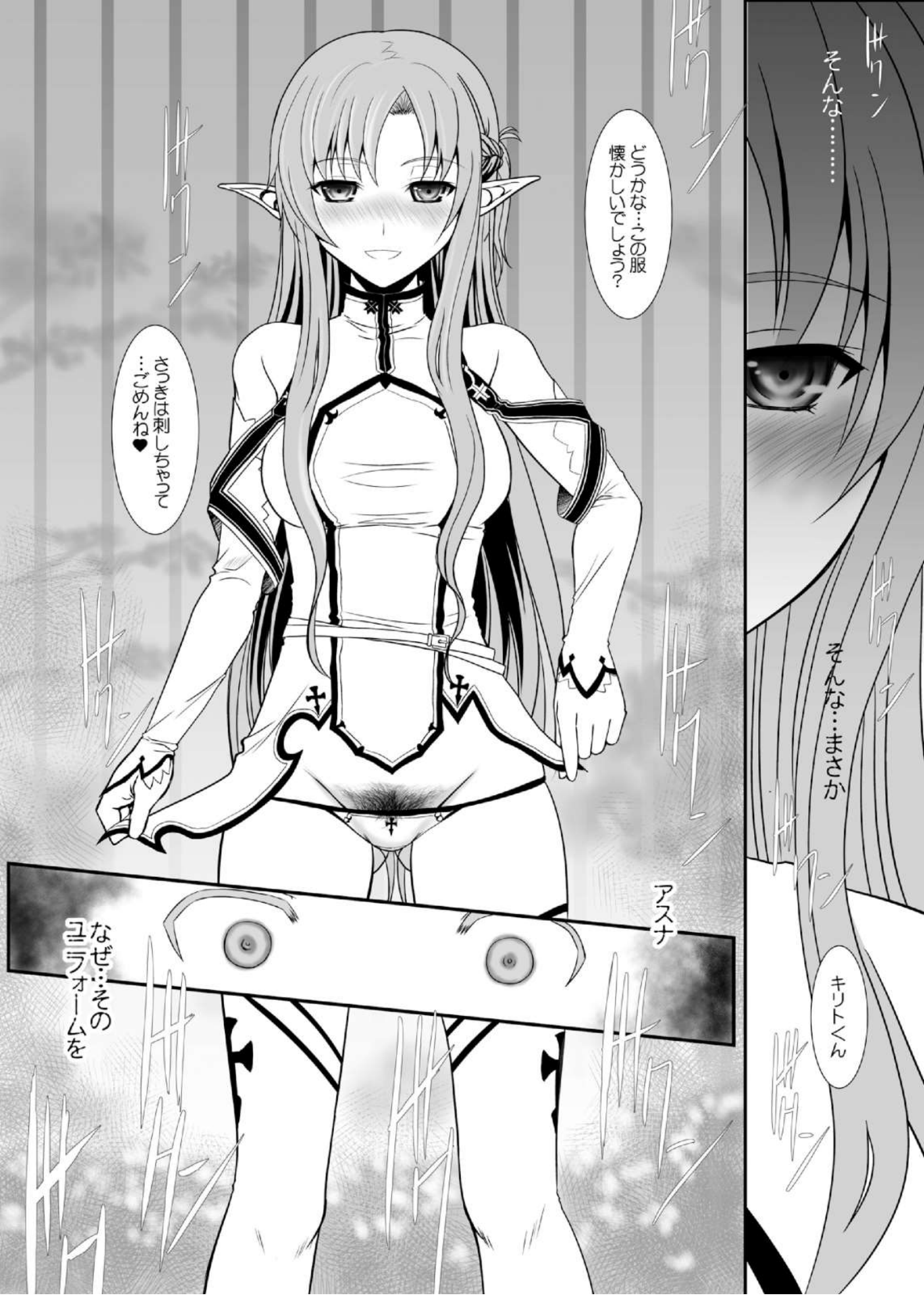
かわいい刺繍が可愛い
…♡

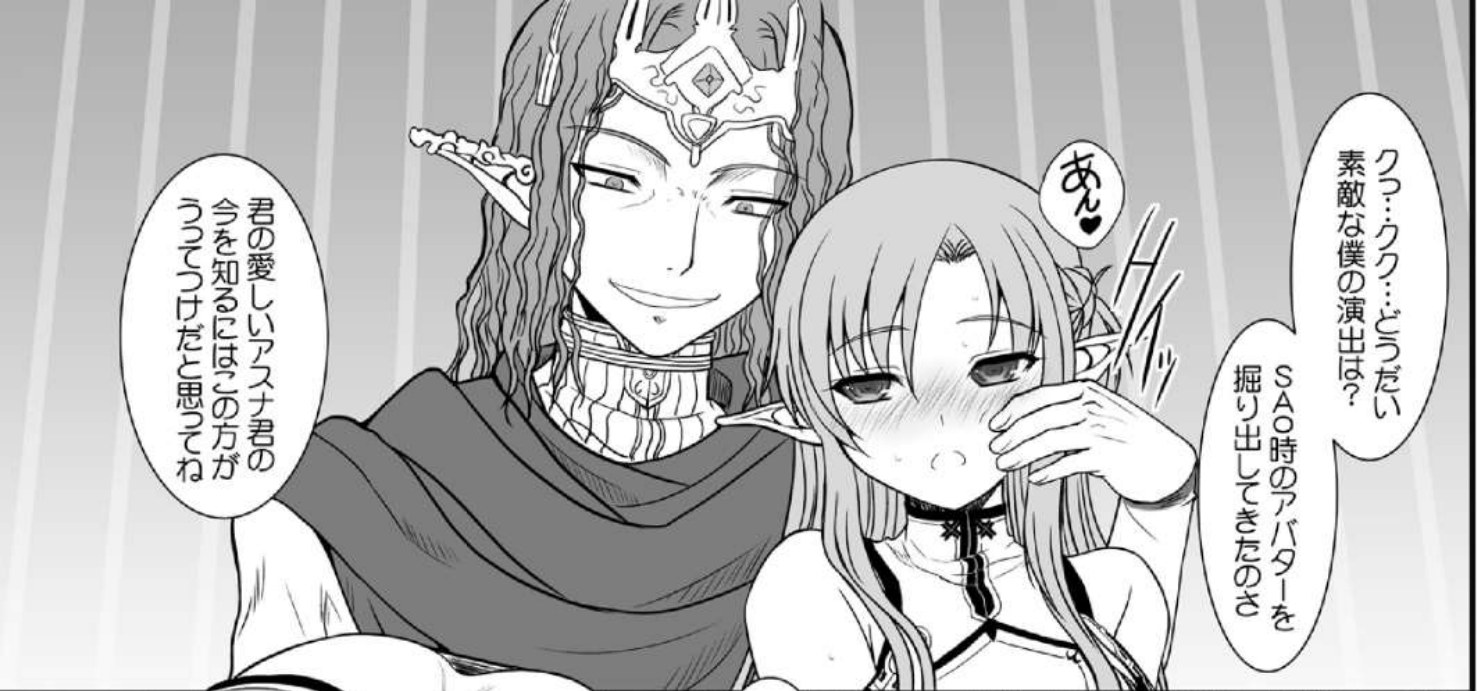
そんな…まさか

キリトくん

アスナ

なぜ…その
ヨラオームを





クフ…クフ…どうだい
素敵な僕の演出は？

SAO時のアバターを
掘り出してまたのぞ

あゝ

君の愛しいアスナ君の
今を知るにはこの方が
うつくしいかと思つてね



さあ
ティターア

はい



小唄な君がごままで
たどり着いた、寝美に
楽しんでほしいわね



あ…アス…

キリくん

まだボーっと
してる顔だね

なんで…あんな事を
それに…これは…

なんでって…大事な
ご命令だったから
仕方なかったんだよ

そんなごめい

ほろろろ
ちやんと見えるかな？

私のお尻…ケツの穴
ぶつこい栓がすっほり
ハマっちゃってるんだよ

ほろろ





ご主人さまのご命令で
わたしがどのように
寝かせて頂いていたか
教えてあげなさいって…



あ
もう映って
ますか？

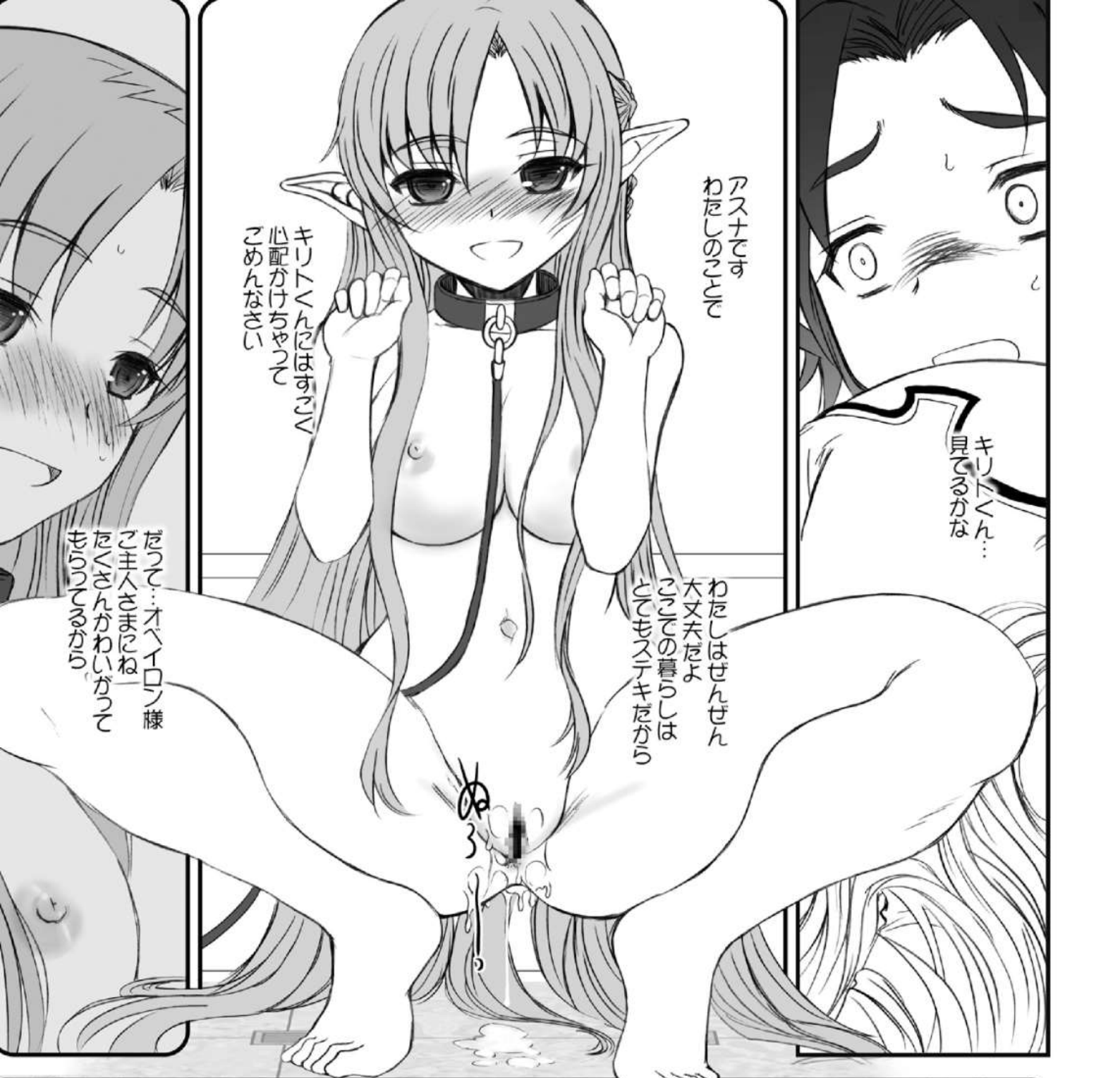
じゃあ
始めますね



だから…
これを…見てね♥

ポツッ





アスナです
わたしの名前

キリトくんにはすごく
心配かけちゃって
ごめんなさい

キリトくん…
見てるかな

わたしはせんせん
大丈夫だよ
ここでの暮らしは
とてもステキだから

だつて…オハイロン様
ご主人さまにねー
たぐさんかわいがかつて
もらってるから

ぬる



最初の頃のわたしは
ご主人さまにすごく
反抗的だったわ

てきすくにそれが
過ちだったと
気がされたの

ご主人さまの
チンポには
逆りえないつて

そしてわたしは
ご主人さまに
飼って頂くことを
誓ったの

それからほんとにも
ステキな時間だった

自分でも知らなかった
わたしのキモチいい
ところをたくさん
知ることができた

わたしのとこ
初めての場所だった
お尻の穴...

お尻を主人さまは
じじり...じじりは
やれ...やれ...は
激しく...そして
焦らされたりも...

時間をかけてたつぷりと
開発していただいて

ただの排泄用だった穴...
ここでは飾りてしか
なかつたこのケツ穴も

交尾専用のケツマンコで
賤けて頂いたの





食事もね…ご主人さま
手すからわたし専用にお作りになった工事を
与えて下さったわ



夢中でむさぼり食い
ながらも睡回りの
疼きが止まらなくて



わたし好みに味付け
された中…かすかに
感じるご主人さまの
精液の味



食事の余韻に癒え
たもたぬ…すっ
それはやっつわわ



でもね…これはまだ
オードフルみたいなもの

こうして常に
ご主人さまのことが
体と心に刻み
つけられていくの



アハターの身では
ありえないはずの便意

そして妊婦のようには
膨らんだお腹から
ひり出されるのは



食事すら
調教の環なの

アハ

がぶ、



きつなの…

アハ



うんこはまるまで産つ
わたしのお尻を蹂躪し
調教するだけの
ゼリー状のテイルド

アハ





ああ…スナキ

はっ

はっ

おちんぼ
ちんぼ

んんん…おんんん
んんん…おんんん

もう君の袒子のいんせ
頭から飛んてるやうだねえ



まったく…チンポを
見ると見境ないな

肥の肥いチンポ…

あ



アスナ…



わざとか…わざと俺に見せつけてるのか

わんわん



わんわん

なんだよ…
そのらしくない下品な顔



こちを見て…

わんわん



この変態女が

あんっ…
そんなあ…



だっ…
キミ…
見ひわ…
思ったり

また…
キミの変態ぶりには
僕もいささかあきれ
気味だよ

ソクソク…
ホ…

いっも…
夢中になつたねえ
どうしてかなあ…?



そっ…

えっ…

あ…





ああ…太い…う



ケツ…めくれよう

どうやって腹に収まっていたのか判らないほどの人ではありえないサイズのものだった

そして…同時に魂まで抜けてしまったかのような彼女のだらしない顔…



その時アスナから吐き出されたモノは



だが…

そんなやりとりを聞きながら…過去の記憶を蘇らせていた

見て…キリト…私のいざなり…

おんじりおんじり

こんなおんじりおんじりも伸びきりおんじり…おんじりの毛もいっしょおんじりおんじり

ダメ…暗くしてないことがさない

だって……恥ずかしいんだもん

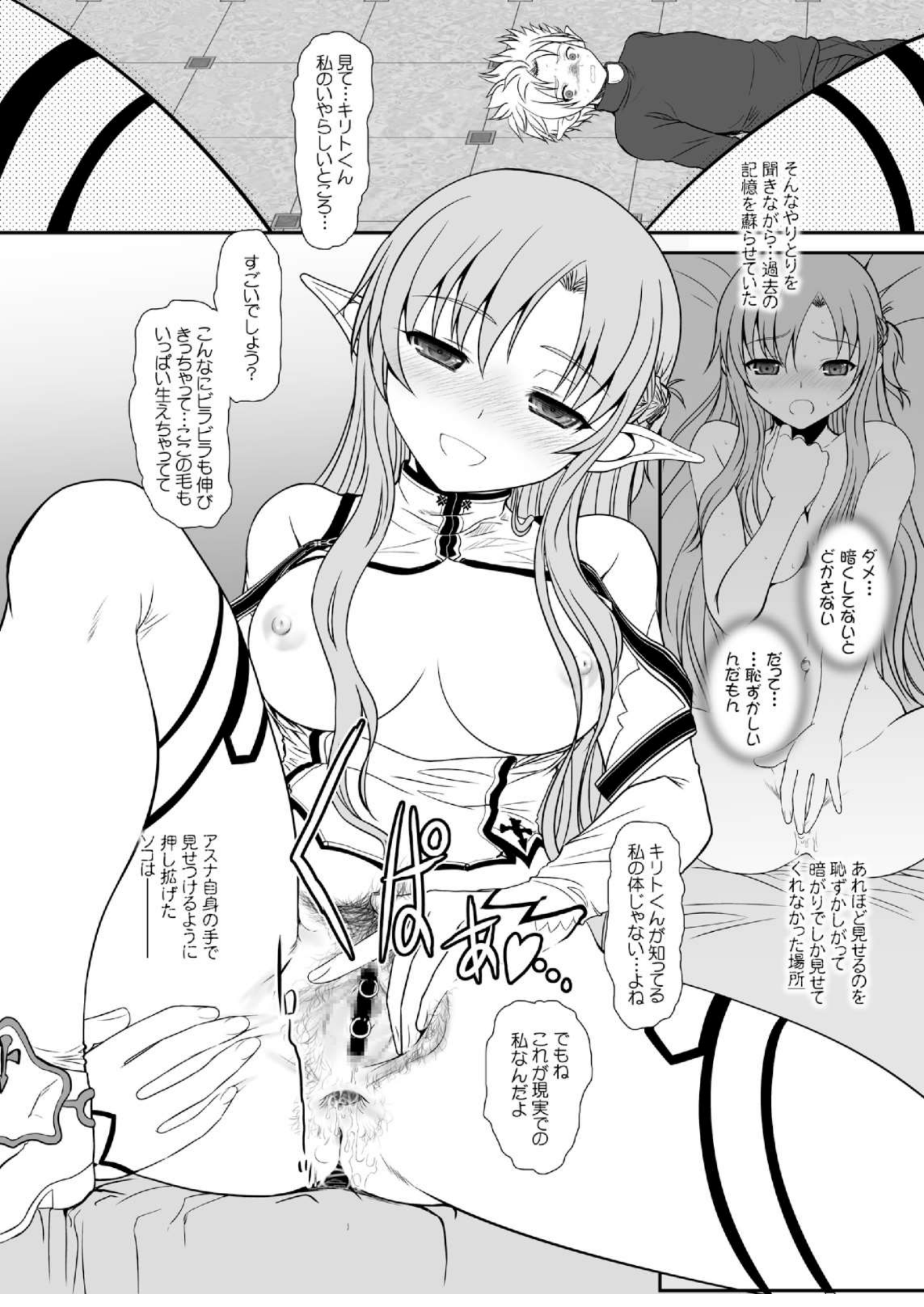
あれほど見せるのを恥ずかしくて暗がりで見せてくれなかった場所

キリトくんが知ってる私の体じゃない…よね

でもねこれが現実の私なんだよ

アスナ自身の手で見せつけるように押し拵げたソコは

おんじりおんじり





でも…そんな私を主人様は受け入れてくれた

私も自分のことが下品であまり好きじゃなかった

下品なままがいいと言ってくれたの♡

どう? 幻滅した?

ほとんど手入れしなくてお尻にまで生えた陰毛…

いじりすぎて厚くよじれたビラビラに

みんな本当の私… 結城明日奈の実像なの



それに

彼女自身のおねだりで現実の彼女の肢体も充分参考にできたしねえ



あん…う

そう…そして僕が彼女の真実を忠実に再現してあげたんだよあ

抜けちゃだめですよ♡

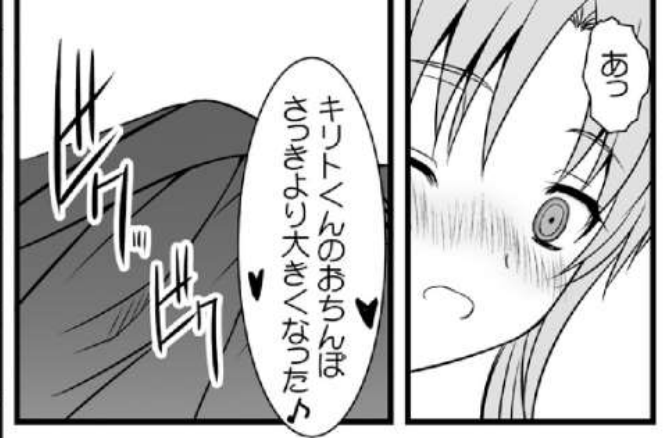


キリトくんを興奮させて
おちんぽおしきくおはせたい
からあ…だからあ…

もう我慢できないのかい

ご主人様あ…
もう我慢

だって…おしちもほほほで
すく切ないとおすも



キリトくんのおちんぽ
さっきより大きくなつたよ

あっ



ふひひ…君の下品な
をすいびん気に入
くれたみたいだね

ほっす
おしんぽをさす



これはねえ…僕ではなく
アスナ自身のリクエスト
なんだよ

そんな俺に
奴はまだ

惨めさと絶望に押し
つぶされそうになる

言わないでっ

あっ…だめ

このピアスを
見てみなよ



キリトくん
ほっすおき…



あーあーあー

キリトくんは必ず
この日来るわ

あー

でもそれまでおまんこを
きつと我慢できないから
貞操帯がわりとゆるいからね

あー

あー

健気だねえ…本気で妬ける
今の君の気分と同じかもねえ

あー
あー
あー

あー

キリトくんごめんね

ご主人さま…焼きもち
とかつてちよつと予定
狂っちゃったけど…



ご主人さまおまんこ
内緒で言っていたので

まあいいじゃないか
軽い焼きもちだよ

まじ…しひなひじ



ほら取れた

あ…



ん…

ん…く…う



ちやんと…聞いてね



ほら
いそいで

今は奥...ポルチオが
スイッチだからねえ

あー

はいっ
あー

あー
あー



あま
あま

あま
あま

あま
あま

チンポっちゃんまで
コンコンさわへっ



びびん
びびん

このまま膣出し
するからなっ！

膣出しされたいっ
膣出しでイキたいっ



早くログアウトして...

えれええ
えええ



早く出てこいよ...
そして一人で

ユイ...ユイはどこ
行ったんだ...ユイ...

がっ

がっ

はい

キリトくん…こんな
わたしを愛してくれて
今までありがとうね

これ…キリトくんが
見たがってた
ハメピースだよ

キリトくんのチンポじゃ
ないけど…やっとな
してあげられたあ

わたし…今でも
キリトくんが大好き

でも…だめのなの

わたし…もう
ご主人さまの
所有物だから

ご主人さまの子種を
孕まないといけないの

だから…ごめんね
おわびで…これ

クソッ

SAOのメンバー
的にためたけど

びびる...おれも
キリッくんとおねだり
されてたおしり姿

ご主人さま...
見せてあげられた

それだね...ご主人さま
孕んでみてわかった

ご主人さまの...
子供が欲しいって

子宮が...メスの
本能がそう言う...
疼いちやうの

精液たくさん...何度でも
孕むまでアスナに種付け
おまんこしてくたさいね

はい...ご主人さま...
おしり欲しです

そうか...僕の子が
そんなに欲しいのか

じゃあ目が覚めたら
早速孕ませてあげるよ
そして結婚式では
ホテ腹新婦だねえ

はい...それステキ
すごく嬉しいです

あれ...?

やっほい...

ホンモノのアスナ
だった...よ

面白そうだから
こいつも洗脳して
明日奈の護衛兼
従僕として飼うのも
面白いかもねえ…

ククク

わあ…おっじいでも
キリトくんと
いつしよなんだあ
…うれしいなあ

ご主人様あ…
ありがとうございます
ございます

大好きですつ…
愛してます

クク…いいんだよアスナ

だから君も彼に
見守られながら
安心して僕の種を
孕むんだよ

はっ

続きは
2月サンクリ
予定です。

もうちょっと
続きます。





Σ
Σ Λ Ο
Ο
SLAVE ASLINA ΟΥΡΕΜΑΠΝ

002



DIEPPE
FACTORY
DARKSIDE
2012
SUMMER